

後期臨床研修プログラム

【整形外科】

■一般目標

一般精神外科医として、運動器疾患や外傷に対して、基本となる考え方、臨床技術を学ぶ。特に、プライマリ・ケアの場面で頻回に遭遇する主訴にどのように対応し、いかに検査・治療を進めるかという基礎的臨床能力（態度・技能・知識）の習得を重視する。

■行動目標

- (1) 患者・家族と医師との関係を正しく築くことができる。
- (2) チーム医療について説明できる。
- (3) 医療現場において安全管理ができる。
- (4) 患者に的確な問診を行い、情報を収集できる。
- (5) 検査を含めた診療計画を立てることができる。
- (6) 医療事故、院内感染などの問題点を理解し、発生時に正しく対処できる。

■カンファレンス

レントゲンカンファレンス	毎日午前
英文抄読会	隔週金曜日
両毛地区整形外科症例検討会	隔月第3木曜日
獨協医大、自治医大開催の整形外科講演会	適宜出席
慶應義塾大学手の外科カンファレンス	適宜出席

※研修医は慶應義塾大整形外科で開催される出張研修医向けクルーズには全て参加する義務有り。

■学会活動

日本整形外科学会・国際手の外科学会・日本手の外科学会・日本肘関節研究会・
関東整形災害外科学会・栃木県整形外科医会など定期的に発表を行っている。

■救急外来

常にオンコール体制をとり迅速に対応可能なようにしている。

■研修医の評価

日本整形外科学会の研修手帳に準じて行っている。